

第3回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成30年8月31日(金) 202会議室	
出席委員氏名	鈴木満 委員長、山田春紀 委員、榎本孝芳 委員	
審議対象期間	平成30年4月1日～平成30年7月31日	
抽出案件	工事 20件 委託 0件 総件数 20件	(備考)
条件付き一般競争入札	工事 6件 委託 0件 総件数 6件	
指名競争入札	工事 0件 委託 0件 総件数 0件	
随意契約	工事 14件 委託 0件 総件数 14件	
次第	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 平成30年度工事契約抽出案件について (平成30年4月1日から平成30年7月31日)</p> <p>(2) 報告</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 業種別委託・工事契約の推移について</p> <p>(3) 審査</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 工事成績評価に係る再苦情について</p> <p>3 その他</p>	
委員からの意見、質問及びそれに対する回答		
意見・質問	回 答	
<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 平成30年度工事契約抽出案件について (平成30年4月1日から平成30年7月31日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理課長が、平成30年4月1日から平成30年7月31日までに発注された38件の工事について、前年度の同一期間との比較結果を説明する。 ・契約件数は、46件から38件へ8件減少している。 ・平均参加者数は、4.6社から5.0社へ0.4社増加している。これは参加者数が38社または22社と多い案件があったことが影響していると考えられる。 ・単純平均落札率は、86.57%から85.70%へ0.87ポイント下降している。 ・加重平均落札率は、85.31%から81.03%へ4.28ポイント下降している。これは高額案件の落札率が低かったことが影響していると考えられる。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正により今年度から変動型最低制限価格の対象範囲を工事全件としているが、予定価格の70%で落札されている案件が見受けられる。これは、最低制限価格を70%で固定していた旧制度の感覚が抜けていないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別の件数の増減は、空調工事が3件、一般土木工事が4件、建築工事が5件減少している。また、平成29年度にはなかった新しい業種と契約件数は、エレベーターが2件、解体工事が2件、焼却設備が1件となっている。 ・今年度より工事全件が対象となった変動型最低制限価格は全部で38件あり、このうち18件が未算定となっている。未算定案件のうち1件は「くじ引き」が発生している。 ・変動型算定となった案件は20件あり、これらの平均落札率は79.01%であった。また、未算定案件の平均落札率は93.13%であったので、その差は14.12ポイントとなっている。 ・変動型の算定率は、平成29年度が60%で今年度が52.63%となり、7.37ポイント下降した。ただし、今年度の案件を昨年度と同じ条件で変動型を適用した場合を試算すると41.67%であったため、今回新しい制度にしたことで、算定率は約10ポイント上昇しているということがわかる。今後の実施状況を注視していきたい。 ・品質管理課長が、競争分の抽出6案件の説明をする。 「立川市公共下水道緑川幹線改築（長寿命化対策）第1期工事」、「立川市道1級5号線及び立川市道南375号線拡幅工事」、「立川市幸福社会館エレベーター改修工事」、「立川市八ヶ岳山荘建具等改修工事」、「立川市消防団第十分団詰所外壁改修及び屋上防水工事」、「立川市立第一小学校扉及び校庭スロープ設置工事」。
--	--

- ・入札参加者の資格要件を「製管工法の施工実施許諾権を有する者」としている案件について、辞退者を含め参加者全員がこのような許諾権を持っているのか。
- ・未算定案件であるが、告示に変動型最低制限価格を設定すると明記した案件にも関わらず、同一の入札価格が複数あったために「くじ引き」1件が発生している。今まで、このようなことはあったか。
- ・市が所有する都外の施設に関する建具改修工事は、できるだけ都外の地元業者が入札参加できるように発注方式を工夫するべきではないか。

- ・参加者自身が許諾権を有しているか、許諾権を有している会社に下請けを依頼するかになるが、参加者全員の状況までは把握していない。
- ・これまで、変動型を設定した案件で「くじ引き」が発生した例は無かったと思われる。

- ・品質管理課長が特命随意契約の14案件について説明する。

「立川市清掃工場バグフィルター取替工事」、「立川市健康会館内科診療室空調機新設工事」、「立川市清掃工場焼却炉整備補修工事（その1）」、「立川市立川駅南口東臨時有料原動機付自転車駐車場防護ネット設置工事」、「立川市総合リサイクルセンター圧縮梱包機更新工事」、「立川市清掃工場 クレーン設備整備工事」、「立川市錦町下水処理場管理棟排水設備補修工事」、「立川市錦町下水処理場2次処理設備高度処理施設補修工事」、「立川市錦町下水処理場汚泥処理設備焼却炉（No. 2）補修工事」、「立川市錦町下水処理場2次処理設備最終沈澱池（No. 1、2）減速機更新工事」、「立川市錦町下水処理場 2次処理設備砂ろ過設備（No. 2, 5, 13）及び補機補修工事」、「立川市錦町下水処理場1次処理設備最初沈澱池（NO. 5, 8）補修工事」、「立川市錦町下水処理場1次処理設備汚水（No. 2, 4）雨水（No. 2）ポンプ補修工事」、「立川市上砂町雨水ポンプ場 監視システム更新工事」。

(2) 報 告

ア 業種別委託・工事契約の推移

- ・品質管理課長が委託契約の業種別でみた平成29年

について

度における落札率上位 10 業種及び過去 5 年間の推移について説明する。

- ・ 2 位の市場・補償鑑定関係調査業務は、5 年間で 8 件あった。平成 29 年度は P C B の廃棄物調査等を行う委託 1 件のみで落札率は 99.13% となっている。
 - ・ 3 位の医療用機械器具は、5 年間で 6 件あった。委託内容は 1 件を除いて災害対策の緊急用薬品点検業務である。落札率は 99% 以上となっているが、5 年間全て同一業者が受注している。
 - ・ 6 位の荒物雑貨は、5 年間で 10 件あった。委託内容は 1 件を除いて防災備蓄品の交換業務である。参加者数が複数あっても受注業者は 5 年間全て同一で 90% 以上の落札率であった。
 - ・ 8 位の環境関係測定機器保守は、1 件を除いて製造工場の排ガス分析装置の補修であった。複数の参加者による競争であったが、全て同一業者が受注している。
 - ・ 9 位の下水道管路内 T V カメラ調査業務は、5 年間で 6 件あった。委託内容は 1 件を除いて全て下水道管渠調査委託である。受注者は変わっているものの 90% 以上の高落札率が続いている。
 - ・ 10 位の土木・水系関係調査業務は、5 年間で 12 件あり落札率は年々上昇している傾向がある。本調査業務の内容は多種多様であるが、舗装状況調査委託は毎年発注している。
- ・ 品質管理課長が工事契約の業種別でみた平成 29 年度における落札率上位 10 業種及び過去 5 年間の推移について説明する。
- ・ 1 位の橋りょう工事、2 位のエレベーター、3 位の焼却設備及び 6 位の水処理装置は、どれも保守の意味合いが強く、参加者数も少ない業種となっている。
 - ・ 4 位の給排水衛生工事は、5 年間で 31 件あった。落札率は 31 件中 28 件が 90% 以上で、このうち半数の 14 件が 95% 以上である。
 - ・ 5 位のガードレールは、5 年間で 5 件あった。内容は防護柵の設置工事で毎年発注している。落札

<p>・ガードレールは、落札率が平成 25 年度から 27 年度にかけて 3 年間連続して 70%台と低く、平成 29 年度は 94%と高くなっている。落札率の推移に極端な傾向が見られる。</p> <p>(3) 審 査 ア 工事成績評定に係る再苦情について</p> <p>・第三者の立場で、市の同席なしで申請者から直接話を聞いた上で結論を出すのが適当と考える。日程等の調整をお願いする。</p> <p>3 その他 次回開催について</p>	<p>率は平成29年度は90%を超えているが、それ以前は70%台となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7位の建築工事は、5年間で56件あった。このうち落札率90%以上は39件、95%以上は28件となっている。平均は93%前後で高落札率が続いている業種である。 ・ 8位の空調工事は、5年間で69件あった。落札率90%以上が53件あり、このうち29件が95%以上、平均すると93%前後の高い落札率が続いているが、平成29年度は90.28%で若干の下降傾向が見られる。 ・ 9位の下水道施設工事は、5年間で54件あった。落札率は38件が90%以上であり、このうち19件が95%以上となっている。平均すると92%前後であるが、平成29年度は89.78%と下降傾向である。 ・ 10位の一般土木工事は、5年間で37件あった。落札率90%以上が17件あり、このうち13件が95%以上となっている。全体としては87%前後で推移しているが、平成29年度は89.08%と上昇傾向である。 <p>・ガードレールは、平成28年度及び29年度の落札金額が同額であったが、予定価格が減少したために落札率が上昇している。ガードレールの設置場所等の状況により変動があると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質管理課長及び施設課長が再苦情申し立ての経緯等について説明する。 ・ 委員によるヒアリングの場を設定するように手配する。 <p>・ 次回の開催は 10 月 29 日(木) 10 : 00。</p>
---	--